


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	有限会社アグリテック				
役職	代表取締役社長				
氏名	中田浩康	ふりがな	なかだひろやす	生年	1975年
連絡先	住所	〒	071-1425	北海道上川郡東川町西町2丁目2-17	
	固定電話		0166-82-0800	携帯電話	
	メールアドレス		info@agritec.co.jp		

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p><経歴> 栃木県出身(小山市)。東京農業大学卒。 ◆大学卒業後、農業・農村関係の出版社である一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)に勤務。在職中に、営業・取材等で全国幾多の農山漁村をまわり、地元農家をはじめそこで生活する多くの人々に触れるうちにそれぞれの地域ごとに持つ地域資源の多様性について感銘を受ける。 ◆2001年に農文協を退職しフリーの農村ライターとして北海道旭川エリアを拠点に活動。 ◆2003年に同社の設立とともに入社。地域資源を活用した体験と観光を結びつけた受地主導による「観光まちづくり」ビジネスを展開。とくに都市と農村の交流活動(グリーンツーリズム分野)では、修学旅行等での農業体験や教育的観光プログラムの受入体制整備のほか、地域資源を活用した体験プログラムの企画開発、地域と観光客(利用者)、インバウンドを結び付けるコーディネート等をおこなっている。そのほかまちづくりアドバイザーとして、各自治体や団体と連携し各種プロジェクトに関わりながら交流人口増加からの地域活性化のお手伝いをおこなっている。また地域交流ビジネスとして独自の「6次観光化」を提唱している。 ◆2007年より企画営業部長、2012年より代表取締役に就任、現職。 ◆総務省地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆著書等:月刊誌「北海道経済」コラム連載中。「農業体験受入Q&A集」「地域資源を掘り起こす」(北海道協同組合通信社刊監修)ほか多数</p>	
	<p>弊社では地域資源を活用した体験型観光推進での交流人口・関係人口増加による観光まちづくりにおける仕組みづくりをサポートしています。そしてこれらの取り組みを通して「また行きたくなるまちづくり」「住んでいて良かったまちづくり」をご提案しています。 ◆地域資源調査分析と活用 自分たちが住んでいる地域の自然や歴史、文化、また日常の生活文化などに着目した地域資源の掘り起こしとコンテンツへの活用のご提案をしています。 ◆地域資源を活用した観光商品化、交流活動事業 観光プログラム、アクティビティの開発、受け入れ検証などその方法やノウハウについて指導します。SDGsによるプログラム企画開発のほか、グリーンツーリズム、サステイナブルツーリズム、アドベンチャータラベル、都市農村交流活動、農村体験ツーリズムの受入の取り組みについての指導や観光人材育成、受入のノウハウなどご指導しています。 ◆受地主導型受入環境整備とブランディング、ネットワーク構築 観光資源に磨きをかけるプログラムづくり、内発的なホスピタリティの育成など指導しています。地域資源を観光資源化し、来訪者が訪れてみたくなるきっかけづくりをしています。 ◆インバウンド観光客における体制整備 地域在住の外国人や日本語学校留学生、また地域おこし協力隊やCIR(国際交流員)等を活用し、体験活動に対し外国語での通訳や体験のアシスタントを担う人材等の育成や、外国人ガイドの育成等による、インバウンド受入体制のお手伝いをしています。 ◆脱炭素、カーボンニュートラル EVモビリティを活用した2次交通やマチなか移動、また脱炭素型の次世代モビリティの普及。 ◆地域観光プログラムや多様なアクティビティを提供できる「Higashikawa Activity Center」(通称:HAC)を2021年7月にオープン。店舗型のアクティビティ体験受付カウンターを設置し、観光案内やアクティビティの提供のほか、地域観光のポータル専門店として展開。各地域に店舗型ワンストップ窓口のノウハウの提供。</p> <p><過去の主な取組実績> ◆農村ツーリズム(北海道における農泊推進)における各種講演等(北海道) ◆観光アクティビティ商品開発、受け入れ体制整備(石狩市、中川町、東川町、各観光協会、DMO等) ◆インバウンド観光客向けの体験アクティビティ商品開発(DMO、各観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等) ◆観光ガイド育成、地域在住日本語学校留学生や地域在住外国人等を活用した体験ガイドアシスタント人材の育成、外国人を活用したツアーガイド育成等(DMO、観光協会、農水省農泊推進事業採択地域等) ◆グリーンスローモビリティ(東川町、上川町、DMO等ほか)</p>	
取組分野(テーマ)	● 観光	(地域資源を活用した観光振興、観光まちづくり、SDGs、教育旅行等におけるプログラムづくりや組織づくりなどお手伝い、ほか観光人材育成等)
	● 移住・定住・関係人口等)	(移住関心層の掘り起こしや地域プロモーション、移住ツアー等によるきっかけ創出。企業研修などを通じた地域とのつながりづくりの創出、政策提言等)
	● 農林水産業	(
	● 起業支援	(
	● まちなか再生	(
	● 集落再生	(
	● 環境	(
● その他	(EVモビリティ、グリーンスローモビリティ、ラストワンマイルとして地域の足、そして2次交通としての活用、脱炭素社会実現に向けた取組みをサポート)	

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
有限会社アグリテック	http://www.agtec.co.jp
HAC(Higashikawa Activity Center)	https://www.hac-higashikawa.jp/
89mart	https://hacmart.com/
4. ふるさと財団での実績	
外部専門家 活用助成	<ul style="list-style-type: none"> ◆2018年度～19年度 北海道石狩市 「地域と企業を結び観光でまちの未来を創るプロジェクト」 ◆2005年度～07年度 北海道東川町 「自然体験型観光推進事業」
外部専門家派遣 (短期診断)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2015年度 北海道旭川市 ◆2014年度 北海道中川町 「地域住民主導の集落活性化」 ◆2011年度 北海道雨竜郡北竜町 ◆2010年度 北海道上川郡剣淵町
地域再生 セミナー	
その他	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chikisaiseihoukoku.pdf
平成30年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chikisaiseihoukoku.pdf
平成29年度 新・地域再生マネージャー事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chikisaiseihoukoku.pdf
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jigyohoukokusyo.pdf
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jigyohoukokusyo.pdf
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchikisaiseiM-houkokusho.pdf
平成19年度 地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiki/pdf/1213146357115.pdf
6. 写真・ひとことPR	
	<p><ひとことPR></p> <p>地域が地域であるために、まずは自分の住んでいる地域の資源(宝物)を探すことから始めてみませんか？ 地域のみなさんが地域資源を知り、他人事ではなく当事者となって考えていく場を創出していきます。さらにそれら地域資源を活用しながら観光や交流人口増加の推進を切り口とした地域活性化を図っていきます。観光まちづくりの視点から地域の課題解決、SDGs、持続可能な社会づくりとしての地域再生の一助になればと思います。</p>